

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田中学校（広島県）

<教育利用> ③ 【3年理科】身近な環境問題について生成AIを使用して発表資料を作成する

めあて：「地元の環境問題について知り、牛田中学校の生徒として何ができるか表現しよう。」

生成AIパイロット校成果報告会ポスターセッション（東京）
令和6年2月20日火曜日
発表資料



授業の流れ

動画視聴
(導入)



生成AI利用
(整理)



グループ討論
(提案)



まとめ

- ・生徒と生成AIの対話が出来ていた。
- ・プロンプトの立て方を考える中で生徒の内容理解が深まった。
- ・生成AIへの指示が具体的に出せていた。
- ・生徒の生成AIに対する考え方がポジティブ/行動的な考えに変化した。
- ・生徒のファクトチェックの必要性に気付いた。

生徒のプロンプト

生成AI利用当初

汚れた海の魚は汚染されますか？

はい、汚れた海の魚はしばしば汚染されます。海洋汚染は、水中に廃棄物や化学物質が放出され、それらが魚やその他の生物に取り込まれることで起こります。そのため、海洋環境の汚染度によって魚が汚染される可能性が高まります。

★学習内容の理解が深まったら

生物濃縮について200字で解説してください

生物濃縮は、生物の組織や生態系内で化学物質が蓄積され微量な物質が、生物を通じて摂取されると、生物内で蓄積は食物連鎖によるもので、上位の捕食者になるほど濃縮。水中の水銀がプランクトンによって摂取され、それを食べる大魚もまた蓄積するというように、濃縮が進行します。系に影響を与える可能性があり、特に環境中に存在する毒を引き起こすことがあります。

★学習内容の理解

「生物濃縮」 専門用語が出現

★生成AIの理解

「200字」 指示が具体的になり

★生徒の変化

単純な質問から高度な質問へ
変化がみられた